

# ESG

## 第8回

# スピークアウト

日本総合研究所  
創発戦略センター スペシャリスト  
黒田 一賢



青山学院大経済学部を卒業後、岡三証券と英ESG調査機関EIRIS（現Vigeo EIRIS）で財務面、非財務面での企業調査を担当。現在は株式運用のための非財務面での企業評価業務などに従事している。日本サステナブル投資フォーラム運営委員。同大地球社会共生学部非常勤講師。英ExtelとNGOのSRI-CONNECTが主催する独立系調査機関所属非財務アナリストランキングIRRI 2012で世界4位。

## 今夏以降に相次いだESG関連コミットメントイニシアティブは活用されて初めて真価を発揮する

この夏以降、ESG推進団体以外によるESG関連のコミットメントが相次いでおり、今後日本にも影響を及ぼすことが想定される。2015年の国連総会でSDGs（持続可能な開発目標）が採択されたのを受けて、2017年に日本経済団体連合会（経団連）が企業行動憲章を改定し、翌18年には日本証券業協会がSDGs宣言を行ったことは記憶に新しい。今回は、その中でも比較的影響力があると考えられる3つを紹介したい。

### 米国経営者団体の声明と世銀のESGポータル

今年8月に米国の経営者団体ビジネス・ラウンドテーブルが「企業の目的に関する声明」を公表した。声明では、「顧客や従業員、取引先、地域社会といった利害関係者に広く配慮し、長期的に企業価値を高める」とステークホルダー配慮の姿勢が示されている。9月上旬時点で約180社のCEOが声明に署名しており、その中にはアップル、ウォルマート、ブラックロックなども含まれている。何より意義深いのは、従来の株主至上主義を色濃く残していた米国の団体がこうした声明を発表したことで

ある。

10月末には、世界銀行がソブリンESGデータポータルを開設し、国単位のESGデータの一覧を公表した（表1、表2）。世銀によると、ポータル開設は投資家のSDGsに沿った分析を容易にし、新興市場や途上国への投資を促進することが目的という。

通常、ESG評価は株式投資のために企業に対して行うのがもっとも一般的だが、社債や国債など債券投資にも行われている。これまでも、ESG評価機関では世銀やその他の情報源からデータを購入し、国単位のESG評価を行っていたが、世銀のポータル開設により、幅広い投資家がそうした評価情報にアクセ

スし、活用することが期待されている。

また、SDGsの17目標を網羅した67の指標が利用できるようになっており、SDGsとの関連性を明示した投資の一助になるだろう。

表1 世界銀行ポータルにおける国別ESG項目（環境）

分野	指標
温室効果ガス排出と大気汚染	CO <sub>2</sub> 排出量
	温室効果ガス純排出量/除去量
	メタン排出量
	亜酸化窒素排出量
自然資本管理	PM2.5大気汚染（1m <sup>3</sup> 当たり平均年間曝露）
	天然資源利用（対国民総所得比率）
	純森林利用（対国民総所得比率）
	年間淡水取水量
	森林面積
	絶滅危惧種の哺乳類
エネルギー使用と安定供給	陸域および海洋保護区（領土全体の割合）
	石炭由来の発電（全体に対する割合）
	純エネルギー輸入量（エネルギー使用全体に対する割合）
	一次エネルギー利用量のGDP原単位
	1人当たりエネルギー消費量
	化石燃料のエネルギー消費量（全体に対する比率）
環境・気候リスクと強靭性	再生可能エネルギーによる発電量（総発電量に対する比率）
	再生可能エネルギー消費量（最終エネルギー消費全体に対する比率）
	冷房度日
	干ばつ、洪水、極端な気温にさらされている人口の割合
	健康指標
	最大5日間の降雨量
食糧安全保障	平均干ばつ指数
	人口密度（土地面積1km <sup>2</sup> 当たりの人口）
	農地（土地面積全体に対する割合）
	農業による付加価値（GDPに対する割合）
	食糧生産指数

出所：世界銀行「ソブリンESGデータポータル」より日本総合研究所作成

## ダボス会議の討議テーマ

世界経済フォーラムは10月中旬、2020年1月の年次総会（通称・ダボス会議）の討議テーマを「持続可能で団結力ある世界を築くためのステークホルダー間連携」にすると発表した。世界から財界、政界、国際機関、市民セクター、学術界のリーダーら約3000人が参加し、グローバルレベルの課題について議論・情報共有する。

今回、「ステークホルダー間連携」が討議テーマに設定された背景には、2つのことがあると考えられる。

1つは、グローバルレベルでの取り組み合意の成果が十分出ていないという懸念だ。2015年に採択されたパリ協定やSDGsは、来年で5年が経過するが、各国の政府や国際機関に達成に向けた推進力を取り戻してもらいたいと考えているようだ。パリ協定やSDGsを具体化するための資金の流れに関する検討を、討議の目的として掲げている。

もう1つは、今度のダボス会議が50回目という節目を迎えることである。1973年に承認されたダボス・マニフェストでは、「企業はすべてのステークホルダー、すなわち株主だけでなく、顧客、従業員、地域社会にも報いるべきである」との考え方を明示している。世界経済フォーラムは、冒頭の討議テーマを改めて掲げた理由を、ダボス会議発足の理念と結びつけて説明しているのだ。

今回の討議では、特に以下の4点を緊急性・重要性が高い領域として取り上げるとしている。

(1) 環境や経済に対して悪影響を及ぼすとともに緊急性の高い気候変動とその他の環境問題に対処する方法

(2) 新たな政治的、経済的、社会的優先事項による取引、消費者行動の変化に対して、より持続可能的で包摂的なビジネスモデルを到達するために産業界が転換する方法

(3) 第4次産業革命が財界、市民セクターに及ぼすリスクを最小化するため、その基盤技術を管理する方法

(4) 教育、雇用、企業家精神を再形成する人口動態、社会、技術面でのトレンドに適応する方法

詳細はまだ明らかになっていないが、今度のダボス会議では、ダボス・マニフェスト2020や、企業、政府向けのESGスコアカードが公表されるといわれている。これらは、世界経済フォーラムの今後50年のステークホルダー配慮の基盤をなすものと予想される。

今回は、ビジネス・ラウンドテーブル、世銀、世界経済フォーラムのイニシアティブを取り上げたが、こ

表2 世界銀行ポータルにおける国別ESG項目(社会)の一部

分野	指標
教育とスキル	教育に対する政府支出(政府支出全体に対する割合)
	15歳以上の人の識字率
	初等教育就学率
雇用	7-14歳の人口の就業者の割合
	15-64歳の人口の労働参加率
	失業率
人口統計	合計出生率
	出生時の平均余命
	65歳以上の人口の総人口に対する割合
貧困と不平等	1人当たりの平均消費または収入の年平均成長率
	GINI インデックス
	最低20%が保有する所得の割合
	貧困者比率
健康と栄養	伝染病および母体、出生前および栄養状態による死者数(死者全体に対する割合)
	1000人当たりの病床数
	出生児1000人当たり死亡率(5歳未満)
	成人肥満者の割合
	栄養不足を理由とした有病率
各種サービスへのアクセス	調理用のきれいな燃料と技術にアクセスできる人口の割合
	電気にアクセスできる人口の割合
	安全に管理された飲料水サービスにアクセスできる人口の割合
	安全に管理された衛生サービスにアクセスできる人口の割合
	安全に管理された衛生サービスにアクセスできる人口の割合

出所：世界銀行「ソプリンESGデータポータル」より日本総合研究所作成

れらは活用されて初めて真価を發揮する。

企業は自らの独自性を強みとして認識した上で、事業機会として最大限活かし、環境・社会面でインパクトのある行動をとることが重要だ。一方、投資家はそのような企業を見極めるため、ポジティブ・スクリーニングを活用した投資やインパクト投資を拡大する必要がある。E

## 「ビジネスパーソンのための ESGの教科書 英国の戦略に学べ」

(著者・黒田一賢、日経BP刊、2500円+税)

ここ数年でESG投資が急激に広まったものの、その知識・知見のバラツキが依然として大きい。本書は世界の金融の中心、英シティでの取材を基にESGビジネスの中心にいるアセットオーナーやアセットマネジャー、コンサルタントなどの最新動向を紹介。ハードローとソフトローを絶妙のバランスで組み合わせ、20年かけて環境整備を進めてきた英国の戦略を解説する。ESG投資の基本から、先端のプレイヤーの動きまで分かる、企業担当者や市場関係者にとって必読の1冊。

